

平成25年度第2回宇都宮市民大学運営協議会議事録

1. 開催日時 平成25年12月3日(火) 午前10時～午前11時30分
2. 開催場所 中央生涯学習センター 404学習室
3. 出席者 委員 10名(別紙参照)
事務局 9名(生涯学習課)
大竹課長, 吉澤課長補佐, 高栖係長, 櫻井総括主査, 佐藤専任主査,
藤田社会教育主事, 味野和主事, 田邊主事, 新井地域教育指導員
4. 公開・非公開の別 公開
5. 傍聴人 0人
6. 会議次第
 - (1) 開会
 - (2) 議題
 - ① 平成25年度宇都宮市民大学後期講座実施状況について
 - ② 平成26年度宇都宮市民大学生涯学習コーディネーター企画講座の決定について
 - (3) その他
 - (4) 閉会
7. 会議資料 別添資料参照
8. 議事の経過

(1) 開会

事務局) … それでは、ただいまより、平成25年度第2回宇都宮市民大学運営協議会を開会いたします。

まず、今回初めてご出席となります、委員を紹介いたします。

No.7 宇都宮大学地域教育研究センター

センター長 中島 宗皓 委員

No.8 宇都宮市生涯学習センター運営審議会

委員 長谷川 京子 委員

引き続き、定足数についてご報告申し上げます。本日の出席委員は、10名となっており、出席委員は半数を超えておりますので、宇都宮市民大学運営協議会運営要領第6条第2項の規定を満たしており、本日の会議は成立しておりますことをご報告いたします。

(2) 議題

事務局) … 議事に入りたいと存じますが、宇都宮市民大学運営協議会運営要領第5条第2項の規定により、議事は会長が進行することとなっておりますので、竹澤会長、お願いいたします。

竹澤会長⇒ それでは、議事を進めて参りたいと存じますが、スムーズな議事進行ができますよう、委員のみなさんの御協力をお願いいたします。

次第をご覧ください。議題（１）「平成２５年度宇都宮市民大学後期講座実施状況について」事務局から説明をお願いします。

① 平成２５年度宇都宮市民大学後期講座実施状況について

（発言の主旨）

竹澤会長⇒ 「仏像から宇都宮の歴史・文化を探る」の、抽選方法はどのようにしましたか。

事務局) … 応募者数の番号札を作成し、抽選箱に入れ無作為に抽出し、受講者を決定しました。

小針委員⇒ 公開講座の講義内容は、韓国ドラマを単なる娯楽的要素だけでなく、文化的な視点から見直すもので、そこに納得しました。最初は歴史ドラマを娯楽的要素で見えておりました。歴史ものの大將軍とか王妃様などは、現代ではあまり使われませんので、旅行等ではあまり役立たないかもしれませんが、ハングル語で聞くと語学的観点で学べるといった程度の意識でした。

しかし、講義を受けたら、家族がテーマになっているとか、民族性・国の歴史・国の存続・最近では女性の社会進出など、人として生きていく上での課題が随所にあって、純粋な娯楽だけではなくこんな学びがあったのかというところが、最初の学びとしては良かったと思います。娯楽を学びに置き換えるスイッチがすごく大事だと思いました。

市民大学で行っている「学びを地域に生かす・学んだことを地域活動に生かす」その前に、楽しいことから学びに変換する作業があって、学びから課題を見い出して地域活動に生かすと、それが結果として娯楽（楽しみ）へという循環に至る全体像を見たような気がして、有意義に感じました。

韓国ドラマに関心がなくて、そこに学びを見い出そうと思わなければ単なる娯楽で終わってしまいます。そのような場合は、そこにこんな学びがあるという提示の仕方に努力が必要かなと思います。

岡田委員⇒ 後期の専門講座を見てほとんどが定員を上回っているため、大変好評だったと思われます。２つの講座を除いて定員をオーバーまたは抽選という結果が出ておりますので、広報も力を入れて募集したのかと思います。

竹澤会長⇒ 大変良い結果だと思います。定員を増やすのは、どの時点で配慮しますか。

事務局) … まずは、企画段階で内容や時間などを考慮し、定員を決めます。

また、募集した時に定員を超える応募があった場合に増やしています。

竹澤会長⇒ 例えば、No.2「仏像から宇都宮の歴史・文化を探る」などは70名から86名になっていますが、申込のあった122名全員を受講させることは出来ませんか。

事務局) … 研修室や館外学習時のバス定員などを考慮した、受け入れ可能人数となります。

石塚委員⇒ No.4「宇都宮の文化・工芸アーティストたち」では、定員が50名で受講者が45名ありますが、このような方たちは、何を見て講座の募集を知ったのか調査をしていますか。

事務局) … 各講座の最終回にアンケートを実施し、年代・職業・受講回数・市民大学の募集を何で知って申し込みをしたかなどをまとめております。

こちらのご報告については、年度末に集計結果を皆様にお示しいたします。

石塚委員⇒ 職業柄どのような周知方法に効果が出ているか気になりました。

増田委員⇒ この会議に出席しまして、講座の内容については良いのですが、運営スタッフは非常に大変かと思えます。例えば、受講者が45名となっていますが当日の出席者は何名なのか、先日の歴史セミナーでは、99名申し込みがあつて当日参加者が60名という状況でした。また、天候等に左右され台風の接近と重なった時には、50名に満たなかった状況もありました。スタッフはそういう所にも神経を配る等、館外事業等で色々苦勞されているだろうと思えます。そういう立場で見ていると考えさせられるところがあります。

花積委員⇒ 生涯学習コーディネーターとして参加してまして、無料の講座は欠席者が多いですが、市民大学では、ほとんど病気以外では欠席者はいませんでした。やはり有料講座はそれだけ強いと思えます。第1回目の仏像の講座の時は150名の応募者全員を受け入れ総合文化センターを会場に行いました。館外学習の時は大変でしたが、受講者からは好評でやりがいは感じました。

② 平成26年度宇都宮市民大学生涯学習コーディネーター企画講座の決定について

(発言の主旨)

小針委員⇒ 今回、コミュニケーション学コースは選考に至りませんでした。人材がやきセンターなどで目的を変えて実施できる企画はありましたか。

また、生涯学習センター等との連携はできますか。

事務局) … コミュニケーション学コースの「子どもの笑顔取り戻しませんか」の提案をいただいた際に委員の方から、すでに各生涯学習センターで子育て関係講座を無料でやっているとの意見がありました。また、受講者は、車で来る方が多く生涯学習センターは駐車場も充実しているため受講しやすいですが、市民大学は有料講座で、中央生涯学習センターは駐車場も少ないため、生涯学習センターで実施した方が良いのではないかとご意見がありました。

竹澤会長⇒ 応募された企画で市民大学での開催はできないが、生涯学習センター等で開催できるような配慮や参考資料として活用する実態はありますか。

事務局) … 生涯学習センターは市民に身近な場所で、より実学的な生活課題を中心とした講座を実施しているため、市民大学用に提案していただいた企画を生涯学習センターにおいて実施するには難しい部分があります。

生涯学習センターでは幅広く講座を実施していますので、今を読み解く現代社会コースNo.2「エネルギー問題、その実情と今後」などは内容を多少変えることによって、現代的な課題として取り組んでいくことは、検討していきたいと考えております。

川本委員⇒ コミュニケーション学コースの「子どもの笑顔取り戻しませんか」と今を読み解く現代社会コースNo.3「子どもの発達の道すじを見据えて」も同じような理由で市民大学の有料講座にはそぐわないということですか。

事務局) … 同様でございます。

川本委員⇒ 暮らしを彩る教養・文化コースNo.6「世界無形文化遺産“和食”文化を見直そう」では、地域性はどこにあるのか記載がないので、京都のイメージがありますが宇都宮に関連する内容はどの程度ありますか。

事務局) … 企画者の提案によりますと、栃木県内の酒造会社や市内の老舗料理店など、地元の講師を想定しています。

川本委員⇒ ふるさと地域学コースNo.3「こぬ人を まつほの浦の夕なぎに」のコメントのところの「宇都宮氏」については、「し、うじ」どちらですか。また、小倉百人一首との関係について教えてください。

事務局) … 「うじ」でございます。小倉百人一首との関係については、25年度市民大学後期パンフレット専門講座6「宇都宮ゆかりの『小倉百人一首』から学ぶコミュニケーション」の概要に記載しております「藤原定家が京都の小倉山にあった宇都宮頼綱の山荘の襖を飾るために百首の歌を選んだという説が最も有力です。」というところで、宇都宮氏と嵯峨中院との関係でございます。

岡田委員⇒ 25年度市民大学後期専門講座 No.6「宇都宮ゆかりの『小倉百人一首』から学ぶコミュニケーション」と26年度ふるさと地域学コースNo.3「こぬ人を まつほの浦の夕なぎに」は繋がりがありますか。

事務局) … 繋がりはございません。

現在行っております「宇都宮ゆかりの『小倉百人一首』から学ぶコミュニケーション」については、コミュニケーションの視点で講座を実施しております。今回の企画「こぬ人を まつほの浦の夕なぎに」については、歴史的視点から学ぶため、別なコースとなっております。

小針委員⇒ 読み解く現代社会コースNo.1「夢への挑戦 陸！海！空！」は今までと比べて新しい感じがします。この講座自体が挑戦的で良いと思いますし、あとで感想を聞きたいです。夢へ挑戦することへのきっかけ作りとか挑戦する意識を刺激するなど、若者にも受講してほしいと思います。

シニア世代の方が受講しても若者に対しての接し方についての学びがあると思います。若々しい講座で期待が持て、若年層に対してこのような学びの場があったら良いと思います。

饗庭委員⇒ 市民大学の講座はどうしても女性受講者が多いですが、この企画は男性が期待している講座になると思います。

竹澤会長⇒ 講座の内容をもう少し詳しく説明してください。

事務局) … それぞれの専門家の講話を聞くほか、館外学習では自動車工場の見学や帝京大学では航空宇宙の現場見学を予定しております。

NHKの「プロジェクトX」のようなイメージです。

長谷川委員⇒ 先ほどお話がありましたように「百人一首」は25年度・26年度と継続性があると初めての方は受講しにくいかと思っていました。

中島委員⇒ 今を読み解く現代社会コース No.5「子どもの発達の道すじを見据えて」の企画の得点が低い理由について教えてください。子育て講座を入れていく観点も必要に思います。

事務局) … 子育て関係の講座は今までに行っていましたが、応募者が少ない状況でございます。託児を設けていますが、小さなお子様を持つお母様には市民大学の講座はハードルが高いイメージがございます。そうした中でハードルを越えるような内容の講座ならば受講者は増えると思います。似たような講座を各生涯学習センターで多数行っておりまして、そういう身近な生涯学習センターの方が、小さなお子様を持つお母様は参加しやすい状況となっております。内容的にそのようなハードルを越えるような魅力的な企画ならば選ばれると思います。

花積委員⇒ 今年度「シニアの健康」に聴覚障害者の方が手話通訳者をつけて参加されていまして、毎回帰りがけに「受講できて幸せだった」とお礼の言葉をかけてくださいます。また「仏像から宇都宮の歴史・文化を探る」の受講者にはパーキンソン病の方が参加されています。健常者だけでなく障がい者も参加してくれる市民大学になったことは大変嬉しく思います。

長谷川委員⇒ 最近、「朝活」が若い世代の方に需要があるようですが、そのような講座を取り入れても良いと思います。

事務局) … 「朝活」は人材かがやきセンターの主催講座で展開しているところでありまして、夏に前期・現在後期を実施しておりまして非常に人気があります。

「朝活」は、20代～40代を対象としておりまして、今後こうした若い世代を対象とした学びの提供については、「朝活」を中心に考えております。

これまでも、土・日・夜間に講座を展開してきましたが、なかなか上手くいかなかった状況です。「朝活」は非常に好評で、前期は44名・後期は40名の応募者がありました。講座の内容について受講者に決めていただいて受講者が自分たちのニーズに基づいて講座を運営して行く流れになっております。

(3) その他

事務局) … 本日も審議いただきまして、ご承認いただきました講座につきましては、今月の20日前後に企画者に対しまして選考結果を通知いたします。
年内に動き出す講座もあるかと思いますが、よろしく願いいたします。

(4) 閉会

事務局) … それでは、これをもちまして、平成25年度第2回宇都宮市民大学運営協議会を閉会いたします。